

# 進路通信 春みどり



平成28年7月20日発行

福島県立田島高等学校進路指導部

## ◇進学希望の皆さんへ◇ 進学担当 星 浩貴

1年生にとっては高校生活最初の夏休みになりますが、進学を考えている生徒にとっては高校生活での学習の仕方を覚える大事な時期になります。一日を無駄に過ごすか、一日の計画を立てて過ごすかで今後の将来の展望が決まることもあります。大事なことは英数国のテキストを毎日時間帯を決めて実行することです。そして、もう一つはワンウィークのテキストをそれに加えて計画的に学習することです。

次に2年生は将来を見通して、英語、数学の苦手な部分を克服できるように努力をすべきです。具体的には教科書を予習しておくことが一つの方法です。それに加えて、読書「岩波ブックレット・岩波新書」をこの夏休み中に2冊は読んでおくという目標を立ててほしいと思います。これらのことを実行することで、2年生としてのリーダーシップもとれる基本となります。

3年生にとっては高校生活最後の夏休みとなり、自分の将来をこの一か月で決定してしまうほどの大事な夏休みです。1・2年生のように英数国のテキスト・ワンウィークのテキストはもとより、自分の目指す学校の過去問、センター試験の過去問をできるだけ計画的に実施する。そして、受験科目に小論文のある生徒はとにかく「岩波ブックレット・岩波新書」などを週に2冊以上読み、知識を蓄えることが大切です。自分の将来をよく考えて自分なりの計画を立てて必ず実行してください。



## ◇求人票の公開が始まりました◇ 就職担当 小河 厚子

7月6日より求人票の公開が始まり、企業の方が来校しています。全校生徒の一人ひとりが田島高校の代表であるという高い意識をもって、礼儀正しい服装やあいさつを心がけてください。

就職活動に励んでいる3年生は、夏休み中、職場見学や履歴書の作成など、忙しい日々を送ることになります。うまくいかなくて、挫けそうになることもあるでしょう。しかし、これは誰しもが通る道なのです。

進学を目指している人も、就職活動に励んでいる同級生、先輩の姿をよく見ておいてください。いずれは就職して、社会人として自立しなければならないのですから。

## ◇就職希望の皆さんへ◇ 進路アドバイザー 水沼 春海

○希望する企業への企業見学(採用試験の一部と考えること)を実施する⇒期待通りであれば保護者、担任の先生への報告後礼状記入(できるだけ早く)、履歴書下書きへ

可能であれば短期でもアルバイトをしてみる。

※周りの人に相談することも大事ですが、どうしても否定的な意見が先行しがちです。自分で見えてきた現実と自分の意思を大切に判断してください。

○企業見学を実施したが自分の思いと違えば別企業で再度職場見学を試み、比較検討して応募先を決める。そこで働いている人の姿、態度をよく見て決めること。

○志望企業の採用試験の内容を確認し、過去の受験報告書(進路指導室に相談)などを利用して試験準備を進める。作文や集団面接対策などは申し出ないと指導されません。

○7月27日実施する「南会津町合同企業説明会」を多岐にわたり有効に利用すること。



### ◇各学年でやるべき勉強◇・・・今からでも遅くない！！夏休みが勝負だ！

|             | 1年生                                                                                                       | 2年生                                                                                                                            | 3年生                                                                                                                                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語<br>星浩貴   | 古典を本格的に学習するようになりました。夏休み前である程度基本的な部分は授業でやりましたので後は授業の予習復習をこれからも続けてください。特に授業の復習は必ず実行してノートもしっかり整理してください。      | 1年生の時の復習をしっかり実行してください。そこで自分のできない部分を把握して教科書を読み、予習をしてください。現代文であれば漢字の読みや語句の意味を調べる自学自習をしてください。古典に関しては本文を書き写し、自分なりの口語訳・品詞分解をしてください。 | 自分が目標とする大学・短大・専門学校に合わせて学習計画を立てて取り組んでください。とにかく過去問を解くことが基本です。そこでつまづいた箇所をしっかりとクリアするように学習を進めていくことが大切です。自分でできないところは何度も本文を読み、自分なりに解法を見つけることがこれからの課題になります。 |
| 数学<br>加藤竹志  | 高校数学では、中学数学の内容を利用した解法が多いため、中学校までの既習事項の復習をしっかりしておきましょう。また、四則演算での計算ミスも目立つのでその改善と、今後の内容に必須な「平方完成」をマスターしましょう。 | 数学Ⅱの中盤～後半で、数学Ⅰで学習した2次関数や三角比などがレベルアップした内容で出てきます。その単元が苦手な生徒は必ず復習をしておきましょう。また、3年生になったときに後悔しないように、少しでも評定を上げるように心掛けましょう。            | 進路に応じた受験勉強をよく考えてしっかり行いましょう。特に今の時期は確実な基礎力をつけるようにし、更なるステップアップに向けた準備をするようにしてください。                                                                      |
| 英語<br>芳賀幸恵  | 既習事項の復習をきちんとしましょう。特に中学校での学習範囲に不安がある人は、何度も復習をして、基礎基本の定着を図りましょう。時間があるうちに総復習をしておいてください。                      | まずは、既習範囲の復習をもう一度しましょう。また、語彙力を付けましょう。長文を読むだけでは終わらず、きちんと復習をして、わからない単語の暗記や、文法項目の確認をしましょう。                                         | これまでの復習をもう一度しっかりやりましょう。長文の読解などを通して多くの英文を読むことで英語に慣れ、入試問題などにも対応できるよう力をつけていきましょう。また、継続して単語、イディオム、文法は復習しておきましょう。                                        |
| 理科<br>氏家貴哉  | 夏休み中に今まで学習した内容の振り返りをし、問題集をもう一度解いてみて下さい。また、テストで点数が取れなかった苦手分野の復習をしっかりと行って下さい。                               | 教科書、問題集をもう一度見直し、自ら進んで予習をすることも大事です。夏休み明けの学習がスムーズに取り組めるようにしましょう。                                                                 | 受験に使う科目は特にしっかりと学習し、分からないところがないようにしましょう。この夏に努力することが進路実現へと直結します。                                                                                      |
| 地歴公民<br>星博之 | 中学校で学習した歴史、地理、公民の総復習をやりましょう。                                                                              | 世界史Aの皆さんは、既習事項の復習をしましょう。世界史B、日本史B、地理Bの皆さんは既習事項に沿った問題集(基本問題、標準問題)を数多くこなし、学力向上を図りましょう。                                           | 既習事項の復習もしながら受験対策(就職試験、公務員試験、大学等進学)を考えて、基本・標準問題から難易度の高い実戦的な問題練習を数多くこなしましょう。                                                                          |